

国民が安心して暮らせる 社会保障の実現へ

#いのちまもる
10・14総行動



10月14日、東京・日比谷野外音楽堂で、「#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ! 10・14総行動」が開催された。日比谷野外音楽堂には345人が参加し、全国649カ所でオンライン視聴が行われました。

今年の「秋の国民集会」は、脆弱な医療・社会保障を抜本的に立て直していくために、国民にアピールし、政府に働きかける場として開催しました。

昨年と同様に、今回の取り組みもコロナ禍の下であることから、県境をこえて参加できない組織・職場については、独自の行動の配置、日比谷音楽会の動画配信(YouTube)視聴などを含めて、総行動として成功をめざしました。



また、集会成功にむけて、「#いのちまもる」メッセージボードの取り組みも提起。全国各地からメッセージボードを掲げた写真がたくさん寄せられました。写真は、Twitter「#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ! 10・14総行動」等で紹介をしました。



「#いのちまもる」のタオルを掲げ医療・社会保障充実をアピールしました。

国民のいのちと生活を守る政治へ

主催者あいさつをした日本医労連・佐々木悦子中央執行委員長は、岸田政権が社会保障削減路線を継続する一方、野党の共通政策に「医療費削減路線の転換」が盛り込まれたと述べ、「総選挙では、市民と野党の

共闘による政権交代で、国民のいのちと生活を守る政治を実現しよう」と訴えました。



全国からたくさんのメッセージボードが寄せられました

長野県医労連

医療・介護・福祉の充実求め

長野県医労連が医療・介護・福祉の充実を求めて、黄色いラッピングバスを走らせています。長野市と松本市を走る路線バス(アルピコ交通株式会社)で9月下旬から1年間の予定です。

長野県医労連の傳田泉書記長に、どのような思いでバスラッピング広告に取り組んでいるのか、お話を聞きました。

コロナ禍の影響で街頭宣伝などが制限される中、「医労連の存在や活動を地域に知ってもらいたい」「ホームページへのアクセスに繋がれば」との思いからラッピングバスを走らせようと思いました。今後、新「いのち署名」の地域へのポスティング行動も提起していきたいと考えています。その時に医労連を知ってもらっていると、受け取りも違ってくるだろうと思い、そうした相乗効果も狙っています。



ラッピングバスでアピール

トークショーでは、落語家の立川談笑さんが、看護師だった母親についてや自らの闘病経験を語り、医療従事者にエールを送りました。

リレートークでは、医師、看護師、保健師、介護士、保育士から現場の訴えがありました。

介護では、岡山県医労連・竹原真由美さんが「ぎりのりの人員で一人休むと有休も返上。増員で利用者も職員も守ってほしい」と訴えました。

「いのちまもる緊急行動」共同代表・小畑雅子全労連議長は「国民のいのちを軽んじる政治を転換させよう」と訴えました。

脈路

この号を組合員が目にするのは、もう総選挙の結果が判明している頃かも知れない。24日の参院補選では、

静岡で野党系候補が勝利し、1勝1敗だった。11月には大きな変化となることを心より期待して、最後まで頑張りたい。私が総選挙で前進させたことのひとつに「選択的夫婦別姓制度」がある。記者クラブの公開討論会で、この制度の実現に手を挙げなかったのが唯一岸田総理だった。国連から何度も勧告されているような人権後進国が、世界のリーダーシップを取れるわけがないし、財界人からの強い要望すら導入できない政権党は一体どこへ向かいたいのか? それにアクセスもブレイキも効かない(もしくは逆の)壊れた自動車のようなもの存在価値はあるのか? ヘイトをなくし、多様性を認めることができるこそ、誰もが生きやすい社会となれるはずなのに。時代に取り残された古い価値観の残滓を一掃するチャンスが来ている▼2年前にも触れたが、日本人の「同調圧力」や、「周りに迷惑をかけられない」とする我慢づきさは、変化へのマイナスでしかない。もっともっと自由に声を出していける風土が必要だ▼そして仮に新しい政治への転換の道が拓けていたとしても、「託しておまかせ」ではなく、これまでの政治の総括はもちろん、ジェンダー平等、環境など、要求実現を求めて、声を上げ続けていきたい。



開会にあたり宮越悠介副会長は、選挙と秋闘が重なる緊迫した情勢と触れ「組合員の思想信条の自由を保障しながら、医療・介護・福祉の要求を前進させてくれる政権にすることが私たちの切実な要求を実現する一歩になる。組合員一人ひとりに投票に行こうと訴えることが重要」と挨拶しました。



細見部会長

すべての事業所で過半数組織をめざそう
基調報告で細見学部長は、2021年の運動の基調として「①改憲阻止とせ

い弱な医療・介護の提供体制を見直す運動に全力をあげます。②医療差別運動の先頭に立ち、労働者の生活と権利を守るために、大幅賃上げと大幅増員・夜勤改善、雇用の確保、働き続けられる職場の実現に全力をあげます。③20万医労連の早期実現をめざして、民医連・生協職場に働く約10万人の職員を視野に、組織の拡大強化に全力をあげま

す」と報告し、「ユニオンショップ組織も含めて、職場での組織数を正確に把握し、すべての事業所で過半数組合」と呼びかけました。
4組織から特別報告
特別報告は、東京民医労働会支部・田原弥生さんより「要求確立・団体交渉について」、北海道勤医労・佐賀正悟さんから「ストライキについて」、愛知・みなと医療生協・近藤直己さんから「組織強化・増員闘争について」、山梨民医

本集では、Zoom機能を利用して、7つの分散会と質問・相談分科会に分かれ意見交流を行いました。質問・相談分科会では、日本医労連・組織共闘局から米沢哲書記次長を助言者に迎え、組織拡大・強化、役員育成などの課題について、相談、共有できる分科会として交流を深めました。

閉会にあたり、山中尚史副会長は、「分散会で、組合員の声をスマホで撮影し、撮影した動画を団交で見せる等、コロナ禍での様々な工夫を凝らした取り組みの報告があった」と紹介しました。集会終了後は、有志でのオンライン交流会を実施しました。

参加者感想

特別報告について「過密都市でもコロナに負けず団体交渉を繰り返す要求を勝ち取るまで諦めない精神に感動した」「ストに対する考え方、スト回避基準の設定等、計画から実行までの期間や流れが分かり参考になった」「労組が労働者代表を取るたたいは見習わなくてはと思った」「山梨の介護職員の意識が高いと思う。学習会をしてもらいたい」など感想が寄せられました。

厚労省交渉 日程変更のお知らせ

日本医労連は11月10日・11日、対政府中央行動に取組みます。今回の中央行動では、国会議員要請行動は行わず、10日に省庁交渉（総務省・財務省・文科省）を行い、11日の全労連中央行動に結集します。

厚労省交渉については、厚労省の都合で日程が当初予定から11月11日・12日に変更になりました。11日は看護・介護、12日は労働・医療です。

詳細は日本医労連「発080号」をご参照ください。

回答指定日の順守 賃金改善求め



愛知県医労連の要請の様子

東京
「回答指定日に、より高い水準で回答を」と、東京医労連の東京民医連労組は、各闘争期に、支部のある各経営に対して統一要求と支部要求を伝える経営者要請行動を行っています。

愛知県医労連は10月1日を皮切りに、21秋闘統一要請書の提出行動をスタートさせ、25日までに32施設に提出を行いました。

自治体病院からは改めてコロナ患者を受ける最後の誓として公立病院の役割が見直されたこと、国が進める公立公的病院の統廃合は見直すべき

川上書記次長は、「コロナ



その他、勤務評価制度導入反対や地域の医療体制充実を求め、国民の命と地域住民のいのちを守り、労働者が誇りをもって働き続けられる職場にしてほしいと訴えました。

各地で経営者要請行動

10月22日の要求提出期限を目前に、回答指定日にならず回答することをはじめ、誠意ある対応を求め、経営者要請行動が各地で取り込まれました。

ど計8日間、20法人へ要請をしました。行動には延べ34人が参加しました。



全国組合協議会の要請の様子

この声があり、コロナ禍での第5波では約18万人が自宅待機となり、病床もひっ迫した。慢性的な人員不足の中で、医療従事者は長時間労働で、疲弊している。公立・公的病院の強化・充実が欠かせない」と要請し、参加者から実態を訴えました。

参加者からは、「ベッドはあるが人手が足りないという切ることにならないようにしてほしい。職員の過重負担で乗切ることをしないようしてほ

経営側は、「一時金は、給与法が成立してから、慎重に見極めたい」とし、「正規・非正規関係なく疲弊していると思うが、増員ありきでは考えていない」と回答しました。

医労連の仲間ふやしに取り組もう 一歩ふみ出し実践し成果はみんなで共有しよう



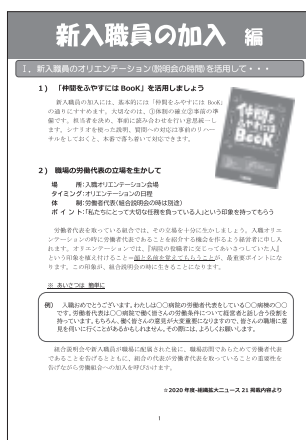
新組合 結成 愛知

稲沢クリニック労働組合

9月16日、「稲沢クリニック労働組合」が結成されました。

稲沢クリニックに働く仲間、2019年3月、愛知県医師会への労働相談から、個人加盟分として活動してきました。

稲沢クリニックの改装や新規事業の予定から労働条件の不利変更が提案され、この状況を個人ではなく、労働組合として公然化し、団体交渉権行使しよりよい職場を作っていく決意をしました。



10月より秋の組織拡大月間がスタートしています。秋の拡大目標は6000人(7月〜9月1500人、10月〜12月で4500人)です。「組織拡大実践カタログ」を作成しましたので活用ください。(発067号)

カタログの内容は

カタログは、「新入職員の加入編」と、「労働組合の見える化編」とで構成されています。どちらも新入職員のオリエンテーションでの「職場の労働代表の立場をいかして」や「貴重な10分をいかして」の実践事例、また、オリエンテーションが開けなかった場合の「5分間の立ち話で組合説明」などの成果と教訓が掲載されています。

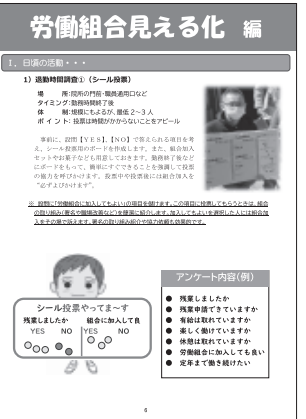
2020年度版 組織拡大 実践カタログ ～ 医労連の仲間ふやしを広げよう ～



2021年9月 日本医労連組織共闘局作成

コロナ禍での工夫や
チャレンジをカタログに

「組織拡大実践カタログ」は、新型コロナウイルス感染症の蔓延で、仲間増やしの取り組みに大きな制限がかけられ、苦戦が強いられているなかでの各地の工夫や新たな取り組みを集約したものです。カタログを加盟組織、単組・支部で広く共有し、コロナ禍で苦戦する組織拡大推進の一助としていただきたいと考えています。



新入職員の加入編

新入職員のオリエンテーションでの「職場の労働代表の立場をいかして」や「貴重な10分をいかして」の実践事例、また、オリエンテーションが開けなかった場合の「5分間の立ち話で組合説明」などの成果と教訓が掲載されています。

新しい労働条件は、労働時間の大幅延長など不利益を伴うものでした。組合の公然化にあたり、「夏季・冬季休暇がほしい」「福利厚生がほしい」「休み希望が出せるように」などの要求や、働くルール作りも民主的に行うべきと考えようになりました。「仕方ない」と諦めていた気持ちに、「働きやすい職場に変えよう」と決意し、過半数の13人で結成しました。

結成大会には全国からのメッセージがありがとうございました。これからもともに頑張ります。

いのちまもる金曜行動



いのちまもる緊急行動で提起された、「金曜行動」が全国各地で取り組まれています。

上野駅前では、毎週金曜日に、家路を急ぐ人々に「安全

・安心の医療・介護の実現」を訴えながら、署名の協力をお願いしています。

対話で医療現場の実態を訴えながら署名を積み上げましょう。

みなさんの実践を聞かせてください

みなさんの実践報告を集約し「実践カタログ」を作成し共有します。(発067号)小さな工夫も皆で共有し大きな成果にしていきたいと思います。

調査期間：2021年10月～12月

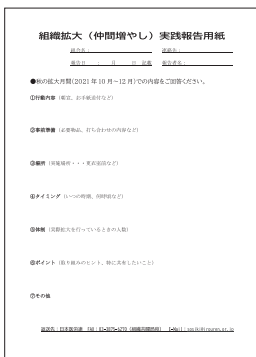
報告方法：実践報告用紙(左)に記入しご報告ください。

担当：日本医労連組織共闘局：sosiki@irouren.or.jp

労働組合の 見える化編

日頃の活動として、退勤時間調査のシール投票・アンケート調査の実践事例

カタログやグッズを有効活用し、「組合に入ろう」の声を大きく広げましょう。春の新人100%加入にも、この秋からの仕掛けと構えが重要です。まずは一歩を踏み出し、どんなに小さな工夫や取り組みも産別全体で共有しましょう。



学会 大部

コロナ禍での 組合活動に期待!



大学部会は10月16日、全国から32人が参加しました。大学部会で交流集会にむけて実施した「みんなの聴き取りアンケート」には、406人の回答があり、コロナ禍前と現在で仕事や私生活での変化が「ある」は8割を超え、心身の不調は約6割が訴えましました。また、約7割を超える人が辞めたいと思ったことが「ある」と回答しました。

交流の中では、「コロナ病棟へ各病棟から選抜してスタッフを派遣している為、各病棟のスタッフ数が足りない」「救急車を受け入れられない状況」「2021年4月に1病棟を閉鎖しているため一般

病棟の稼働率も高く、入院期間中の治療や処置の濃密な患者で繁忙度も高くなっていることから他部署への応援も厳しい」などコロナ対応で現場が厳しくなっている状況が報告されました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の中での組合活動が課題と各組織から問題提起がある中、「昨年は、夏の一時金を巡る運動の中で多くの教職員の理事に対する怒りが増大し、50人の加入」「組合説明会や医労連共済の説明会・退勤調査など工夫を凝らしている」などの報告がありました。

一般病院 部会

現場の声あげ、 要求を勝ちとろう

一般病院部会は10月17日、第23回一般病院民間病院労働者全国交流会をオンラインで開催し、14組織23人が参加しました。

記念講演は、「コミュニティ・オーガナイズングで組合員みんなが主人公に」をテーマに、国公労連中央執行委員の井上伸さんにお話ししました。井上さんは、「コミュニティ・オーガナイズング」とは、市民の力で私たちの社会を変えていくための方法であり考え方。5つのステップにより世界を動かす変革の力が生まれる」と説明。戦略を持って労働者に具体的な展望を示し、実践すれば運動前進とともに組織強化・拡大が可能

特別報告は、厚生荘病院労働組合の吉田千代さんから、厚生荘病院閉院撤回のたたかいの報告と抗議デモハガキへの協力が呼びかけられました。

分會では、職場で起きている問題等について交流し、コロナ禍での組合活動の難しさが口々に語られました。





日本医療労働組合連合会 書記局員募集

日本医療労働組合連合会（日本医労連）本部の書記局員を募集します。
医療・介護・福祉関係労働者の賃金・労働条件の改善、大幅増員をはじめ、安全・安心の医療・介護・福祉の確立にむけた労働運動に熱意のある方を募集します。

- 【募集人員】 1名
【募集条件】 要自動車免許、PC操作（ワード文書・エクセル表作成、Web編集等）。年齢は35歳くらいまで（キャリア養成のため）。労働組合経験のある方を優遇します。
【勤務地】 東京都台東区入谷1-9-5
【勤務条件等】 日本医労連規約・規定に基づく（国家公務員に準ずる）
【応募方法】 履歴書（写真添付）、志望動機（A4用紙1枚800字程度）を下記へ送ってください。
【応募締切】 2021年11月30日（火）必着。
書類選考の上、面接日程を通知。
【面接予定】 2021年12月中旬を予定
【採用日】 2022年2月以降（相談に応ず）

【問い合わせ・履歴書送付先】
〒110-0013
東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3階
日本医労連・総務財政局 電話 03-3875-5871

【パズル解答】
1763号の答えは「ワインレッド」でした。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。
【応募方法】
①組合（病院）名、②職種、③氏名、④郵便番号、⑤住所を記入し、解答を11/18（木）までにご応募ください。「読者のページ」もご寄稿下さい。
【応募先】
〒110-0013 台東区入谷1-9-5
「日本医労連教育宣伝局」FAX03-3875-6270
e-mail: n-ask@irouren.or.jp

参加費 無料

日本医労連

院内保育所厚労省・内閣府要請 (Web)

事前打ち合わせ
2021年11月19日(金)10:30~11:30
※要請に当たり、参加者の事前打ち合わせをWebで行います。(10時~Web受付開始)

Web要請
2021年11月19日(金)13:00~14:30
【開催方法】 Web (Zoom) 開催 ※要事前登録
【参加資格】 労組保育所担当 労組役員 保育労働者 父母・保護者等

第43回保育所会議 (Web)

2021年11月21日(日)12:30~16:00
※12:20よりオープニング行事を行います。(12時~Web受付開始)

【開催方法】 Web (Zoom) 開催 ※要事前登録
【内 容】 記念講演 池添 素氏 (NPO法人 福祉広場 理事長)
基調報告・厚労省交渉報告・分散会
【参加資格】 労組保育所担当 労組役員 保育労働者 父母・保護者等

参加の原は、全国組合・県医労連まで参加の旨を連絡し、参加申込は下記のQRコードから必要事項を入力の上「登録」をお願いします。
※登録完了後、申込みに関する確認メールが自動送信されます。しばらく経っても返信メールが届かない場合は、迷惑フォルダをご確認ください。
万一送信メールが届かない場合は、登録アドレスの誤入力の可能性があります。
お手数ですが、必要に応じて再申込みをお願いいたします。

申込締切 第1次締切 10月25日（月）
最終締切 11月11日（木）

日本医療労働組合連合会

お問い合わせ TEL 03-3875-5871 FAX 03-3875-6270
E-MAIL n-ask@irouren.or.jp

■ヨコのカギ

- 1 大学に振り込みます
- 4 汚名は返上、名誉は?
- 7 南京豆、ピーナッツ
- 9 壬申（じんしん）、応仁といえ
- 10 今年の……冬は11月7日です
- 11 まゆから糸をとります
- 12 ……ガイとは頑強な人
- 14 カリブ海にある島国
- 16 年に4回発行する雑誌
- 18 貸したお金の報酬
- 20 バーチャル空間とは……空間のことです
- 21 ドリームです
- 23 4種類の剣道具の一つ
- 24 生産量1位は鹿児島県
- 26 アナログではない
- 27 ほかの人と異なる意見



- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに?
- 1 タテのカギ
値打ちのない物ばかりですが、時には振り出し物も
2 革が化ける?
のぞみやこだまの仲間
半沢直樹の名セリフといえは「……返しだ!」
うわべだけは偉そう
オウム目の小鳥です
台風が日本に……
マイ……、パト……
雑巾を使って室内をきれいにします
品物を外国に売ります
乳牛や雌牛のことです
Q & AのQ
旅立ち。人生の……
くらうちと感じ十二支の9番目……
気……物

医労連の「自動車共済」を広げよう

こくみん共済（全労済）は、今年11月より、マイカー共済の掛金を10%割引く「職域割引制度」を廃止しました。こくみん共済の「職域割引制度」は、労働者の消費生活協同組合（労連）加盟の組合員であれば、掛金割引が受けられました。しかし現在、こくみん共済は保険法対応の金融機関となっており、労働組合を優遇する「職域割引制度」は違法となるため廃止することになりました。これに伴い、労働組合の是非を問わず、加入20台以上の団体を対象に「団体割引

医労連共済だより

制度」を設けるとして

日本医労連には、100を超える単組・支部があります。しかし、組織拡大に取り組み、成果を出している組合はその5～6割にとどまっています。残りの4割～5割の組合の取り組みを前進させることが重要な課題です。

問題は、当該組合に組織拡大の意義や重要性をいかに理解してもらうかということです。多くの

医療の眼

3年連続の減勢

今年5月の日本医労連の組合員数は、3年連続で減少となり、17万人を割り込みました。日本医労連はこれまで、1960年代の病院ストや夜勤制限闘争（二・八闘争）、1990年代のナースウエーブ、2000年代のいのちを守るキャパパン行動など、産別の運動を通して診療報酬の大幅引き上げや夜勤改善、看護師確保法の制定や大幅増員など、幾多の成果を勝ち取ってきました。その日本医労連の組織減は、いくらコロナ禍だからとはいえ、産別の運動を後退させかねない深刻な事態と受け止めなければなりません。

組織拡大の目的を明確に

組織がその壁にぶつかって、現状維持・後退という結果を受け止めざるを得ない状況にあるのだと思います。しかし、そこで問い直したいのは、壁にぶつかっている「私自身（個人または組織）」が組織拡大の意義・重要性を理解し、決意を持っているかということです。もし、決意が中途半端であれば、受け止めた結果から学び、次の一歩を踏み出すということを目指することはできません。

要求実現と結び付けた取り組みを

「労働組合に入るメリットは？」組合加入を呼びかける時に聞かれる言葉です。労働組合に入るメリットを感じなければ加入しないのは道理です。そのことの理解を深めれば、1000ある単組・支部の力を最大限に生かすことができ、20万医労連の達成、そして、その先の飛躍も見えてくるからです。

千里の道も一歩から。まずは、この秋の組織拡大月間10月～12月で、単組・支部の垣根を越えて「医労連の仲間ふやし」をすすめていきましよう。

米沢 哲